

祝



瑞宝双光章
(消防功労)
高橋 整さん(73)
水沢区佐倉河字洪田

昭和42年、旧水沢市消防団に入団。平成13年から20年まで旧水沢市・市水沢区消防団長を務めました。「災害から地域住民を守ること」を信条に消防活動に尽力されました。



瑞宝小綬章
(教育功労)
鈴木 公人さん(76)
水沢区中上野町

昭和34年、花巻中学校で教職に就き、水沢高校や前沢高校などに勤務。社会教育の現場にも携わり、奉仕・協調・努力を信条に尽力されました。一関市室根町出身。



瑞宝単光章
(警察功労)
山崎 義行さん(70)
江刺区愛宕字小畑

昭和38年、県警入り。一関署を皮切りに、大船渡署、交通機動隊、水沢署などに勤務。39年間の警察人生の大半を交通部門で過ごし、交通事故防止に尽力されました。



藍綬褒章
(生活衛生功績)
坂 忠昭さん(62)
水沢区字北栗林

平成18年、県中華料理生活衛生同業組合理事長に就任し、現在4期目。同組合として、沿岸被災地で炊き出しを行うなど支援活動に貢献しました。石川県珠洲市出身。

叙勲 褒章

顕著な功績を挙げた人などに贈られる秋の叙勲・褒章と、警察官など危険な職務に長年従事した人に贈られる危険業務従事者叙勲の受章者が発表されました。市内からは、合わせて4人がその荣誉に輝いています。受章おめでとうございます。

「秋の叙勲・褒章」「危険業務従事者叙勲」―荣誉に喜びの声



総合水沢病院 半井院長が大臣表彰

—30年間、小児科医療に尽力—

総合水沢病院の半井 潔院長(62)が国民健康保険事業への功績がとくに顕著な国保関係功労者として、平成24年度厚生労働大臣表彰を受けました。

半井院長は、昭和57年、旧水沢市国保総合水沢病院に小児科長として着任以来、30年にわたり小児科医療に携わってきました。

また、学校保健医として児童生徒の健康管理にも尽力された功績が評価され、今回の大臣表彰につながりました。

公用車を入札でお売りします



- ◆日時 12月3日(木)午前10時
- ◆場所 江刺総合支所212会議室
- ◆参加資格 市民、市内事業者
- ◆申込期間 11月14日(木)～26日(木)午前9時～午後5時 ※(木)除く
- ◆物件公開期間 11月19日(木)～22日(木)午前9時～正午、午後1時～4時
- ◆問い合わせ・申込先 本庁財産運用課車両係(江刺総合支所内線600)

車名	登録年	車検	走行距離(km)	公開場所	備考
ニッサンADバン	S 61	無	138,351		小型貨物
トヨタキャブオーバ	S 56	無	109,869	江刺総合支所	普通貨物(2t)
三菱リベロカーゴ	H 5	無	147,055		小型貨物
トヨタハイエース	H 6	無	30,306		普通特殊
スズキキャリバン	H 3	H26.1	157,141	まえさわ介護センター	軽貨物
スズキアルト	H 3	H24.12	121,523		軽乗用
三菱ランサー	H 2	H25.2	86,817	江刺総合支所	小型貨物
三菱リヤーエンジン	H 3	無	756,021	衣川荘	47人乗りバス
コマツミニバックホー	S 62	-	-	衣川区古戸地内	小型特殊

※走行距離は10月17日現在。ただし、スズキキャリバンとスズキアルトは使用することがあるため走行距離が増えます

た わら 田原振興会

■代表者：会長 及川 高志
 ■人 口：2,389 人（男 1,183 人／女 1,206 人）
 ■世帯数：746 世帯
 ■拠 点：田原地区センター
 （江刺区田原字深沢 166 番地 1 ☎FAX② 2131）
 （平成 24 年 9 月 30 日現在）

結 ⁷ -ゆい-

～ 30の地区振興会による
協働のまちづくり実践事例 ～

特色のある地区振興会の事業を紹介するこのコーナー。シリーズ7回目は、江刺区の田原振興会を紹介します。

田原地区は、江刺区の南西部にあり、南側は一関市大東町と接しています。地区内を国道456号・397号が通り、交通の便に恵まれた地域です。

田原振興会は、昭和41年9月、それまでの田原振興座談会の組織体制を発展的に改め、連合会組織として誕生しました。その後、平成16年、公民館の地区センター化を機に、振興会も組織を見直し、各種団体を一本化し、7つの部会に再編し運営をしています。

16年の組織再編と共に策定した地域コミュニティ計画で、地域の将来像を「住みつけたい わたしたちのふる里 田原」とし、その実現に向けて、創意と工夫を凝らした取り組みを展開しています。ここでは多くの事業の中から、田原地区の特徴的な事業を紹介します。

■フラワーロード事業

同地区では、国道や県道などの主要道路が通っている特



通行車両に気を付けながら植栽作業

長を生かして、17年に宝くじ普及広報による緑化推進コミュニティ助成事業を活用し、国道456号、県道玉里水沢線、県道田原折居線など総延長約13・5キロにスイセンの球根約3万球を植栽し、環境美化に取り組みました。昨年度は、協働のまちづくり事業を活用し、新たにヒガンバナ5000球を植栽。本年度は、さらにヒガンバナ2万球と補植用にスイセン5000球を7つの自治会ごとに植栽しました。スイセンは4月中旬から下旬、ヒガンバナは9月中

■青少年交流会

同地区には、田原と大田代の2つの小学校があり、中学校も江刺一中と田原中に分かれるという特徴があります。同じ地域に暮らし、未来を担う子どもたちの交流を推進するために行っているのが青少年交流会です。30年目の開催

句から下旬にかけて見頃を迎え、多くのドライバーの目を楽しませてくれます。



となることは、両小学校の5、6年生28人が参加。1回目は、種山高原星座の森で1泊2日のキャンプ、2回目は、座禅体験と、老人クラブとのグラウンドゴルフを通じての世代間交流、3回目は、えさし郷土文化館での体験学習です。

昨年度の感想文を見ると、初めて交流会に参加した5年生は、「緊張した」「次回は積極的に話しかけ交流したい」との感想が。2年目の参加となる6年生は、「他校や地域の人たちとの交流は大事なこと」「楽しく交流できた」「新鮮な気持ちで、いい思い出になった」などの感想が多く寄せられています。



青少年交流会キャンプの参加者